

つるの福祉

No. 151
春号

その一声から始めよう!



平成31年2月20日(水)～22日(金)に都留市まちづくり交流センター4階において「東部地域高齢者作品展」が開催されました。

目次

- P 2～3…●平成31年度事業計画
- P 4……●平成31年度事業計画 ●平成31年度当初予算
- P 5……●地区社協活動紹介(禾生)(開地)
- P 6……●社協一般会費 ●ボランティア助成金 ●広報モニター ●老人クラブ会員・各教室会員募集
- P 7……●総合相談所カレンダー ●都留市ファミリー・サポート・センター ●給食サービス事業
- P 8……●第37回都留市社会福祉大会 ●善意銀行
- P 9……●赤い羽根共同募金報告 ●介護支援ボランティア講座報告 ●暮らしに役立つ生活術報告
- P 10・11…●ぼられんだより ●ボランティアセンターつうしん
- P 12……●市老連情報 ●絵手紙特集

都留市社協だより 151号

(令和元年5月1日発行)

- 発行 社会福祉法人 都留市社会福祉協議会
- 住所 都留市下谷 2516 番地 1 (いきいきプラザ都留内)
- 電話 46-5115



この広報誌は赤い羽根共同募金配分金などにより発行されています。

平成31年度 都留市社会福祉協議会の事業計画

基本方針

近年、急速に進む少子高齢化社会や核家族化の急激な進展などに伴い、個々の価値観や生活習慣の変化、さらには、社会的孤立者や、子どもを含む生活困窮者の増加等を要因とする、地域社会全体の変容などにより、地域の繋がりや支え合いが希薄化し、日々の暮らしの中で様々な生活課題が生じております。

また、全国で頻発する地震や、豪雨、豪雪などに伴う大規模な自然災害により、多大な犠牲者と混乱が生じていることから、私たちは、これらの災害から得た教訓と経験を活かして、将来起こりうる災害への備えを含めた地域福祉活動の推進に生かしていくことが求められています。

国では、「地域共生社会の実現」を提唱し、制度・分野ごとの「縦割り」や「支え手」「受け手」という関係

を超えて、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えてつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会を目指しています。

都留市社会福祉協議会は、このような社会構造の変化や人々の暮らしの変化を踏まえ、地域福祉推進の中核的組織として、様々な生活課題や新たな福祉課題に向き合い、誰もが住み慣れた地域において、健康で安心して自立した日常生活が送れるよう、地域に根ざした福祉のまちづくりに取り組んでいく必要があります。

このため、これまでの地域福祉活動の経験を活かしながら、社会福祉関係者と更なる連携強化の下、地域福祉をより一層向上するための各種事業に積極的に取り組み、地域住民や地域社会のために貢献してまいります。

社会福祉事業

① 法人運営事業

- 理事会・評議員会の開催
- つるの福祉発行

・社会福祉協議会の様々な情報を広く市民の皆様へ周知することを目的に、社協だより「つるの福祉」を年4回発行

● 非常災害基金事業

② 福祉活動推進事業

● 社会福祉大会事業

・社会福祉の発展に功績のあった方々及び団体を表彰し、より一層の地域福祉活動の充実を図ることを目的に開催

● 歳末たすけあい事業

・80歳以上のひとり暮らし高齢者や、寝たきり高齢者に対して、一人3千円を贈呈

● 地区社協支援事業

・民生委員・児童委員協議会への支援と助成事業

● 地域福祉活動計画事業

・第2次都留市地域福祉活動計画笑顔のまちづくり計画の推進、第2次都留市社会福祉協議会組織発展・強化計画の推進

● 社会福祉資金貸付事業

・生活困窮世帯に対し、一時的に5万円を限度に貸付を実施

● 福祉バザー事業

・各家庭から遊休品を提供していただき、福祉バザーを11月の最終日曜日に実施

③ ふれあいのまちづくり事業

● 都留市ボランティアセンターの運営

・住民の主体的な地域活動への参加を促進するための相談窓口の開設、ボランティアの養成、広報・啓発、情報提供、ネットワークづくり、コーディネート業務などボランティア活動推進全般の業務を実施

● 都留市ボランティア連絡会の支援

● 都留市ボランティアまつり

・市内のボランティアの力を結集して、ふれあいステージ、交流・体験コーナー、食のコーナー、福祉ショップ、フリーマーケットコーナー、防災コーナー、展示コーナー、被災地復興支援活動コーナーなどを実施

● 地区ボランティアコーディネーター設置事業

● 災害救援ボランティア・福祉救援ネットワーク活動事業

・大規模な災害に備え、災害ボランティアセンター設置運営訓練、高校生災害ボランティアスクール等を実施

・災害ボランティアセンター運営検討委員会の開催

● 福祉教育推進事業

● ボランティア活動推進校事業

● ボランティア団体助成事業

● 各種ボランティア養成事業

・ボランティア入門講座、在宅福祉ボランティア講座、児童・生徒のボランティア体験学習等

● 総合相談事業

・毎月第1・第3金曜日に相談員(司法書士)による心配ごと相談の実施

- ・月曜日から金曜日（祝日を除く）に職員（精神保健福祉士・社会福祉士）が日常生活での様々な困りごとや悩みごと等の一般相談に対応
- ふれあい・いきいきサロン
 - ・早期の介護予防活動の推進を図るため、身近な地域を拠点に、住民である高齢者とボランティアとが、それぞれの興味や関心に合わせて協働で企画をし、共に運営する仲間づくりの場をつくる。
- ふれあい子育てサロン
 - ・住民主体、住民参加の子育て支援活動を支援する。
- いこいのひろば
 - ・いこいのひろば実行委員会主体（主催いこいのひろば実行委員会 同協力都留文科大地域交流センター）のもと、地域の方々、障がいのある方々、さらに大学生が一体となり誰もが充実して楽しく過ごすことのできる地域づくりを目的とし、文化・スポーツ・レクリエーションなどの内容を企画、運営、交流を深める活動を支援する。
- 地区ふれあい福祉集会
- 福祉医療健康講座
- 老人の幸せの里づくり事業
- おふくろの味・知恵袋交換会
- 都留市住民参加型有償在宅福祉サービス事業
 - ・日常生活で困った時に地域の中でお互いに支え合う住民参加型有償在宅福祉サービスを実施
- 福祉課・長寿介護課・健康子育て課・社会福祉協議会四者での意見調整・情報交換会
- 地区の保育園および子育て支援センターとの連携

- 障がい者スポーツの振興
- 共同募金配分金事業
 - ・善意による住民の募金の配分金を効果的に活用し、社会福祉事業に役立てることを目的として、毎年10月1日から3月31日まで共同募金活動を実施
- 福祉サービス利用援助事業
 - ・様々なサービスを適切に利用することが困難な方（認知症高齢者・知的障がい者・精神障がい者）を対象に福祉サービスの利用援助、日常的な金銭管理サービス、書類等の預かりサービスを実施
- 障害者社会参加促進事業
 - ・奉仕員等（点字奉仕員・手話奉仕員・朗読奉仕員）養成事業
 - ・点字・声の広報など発行事業
 - ・当事者組織の支援の実施
- 在宅福祉推進事業
 - 給食サービス事業
 - ・日常生活に支障のある高齢者、重度の障がい者等に食生活の改善及び健康増進を図るとともに地域住民による安否確認を行うことを目的に、食事サービスを実施
 - ふとん丸洗いサービス事業
- 生活福祉資金貸付事業
 - 山梨県社会福祉協議会で実施している低所得者、障がい者又は高齢者に対する福祉資金の貸付に係る相談支援を実施

- 地域ふれあい健康推進事業
 - 都留市内の7地区において、地域住民主体による介護予防活動を展開
- おでかけ元気促進事業
 - ふれあい・いきいきサロンの活動に対し、物品購入等サロンの整備の支援
- 福祉バス（みどり号）運営事業
 - 老人クラブや福祉団体などの社会福祉活動の利便性の向上を図るための福祉バスを運行
- 善意銀行事業
 - 市民から寄せられる善意の預託・払出しを行う。
- 社会福祉基金事業
 - 安定した社会福祉事業の推進を図ることを目的に、善意銀行より繰り入れた寄付金を積み立てる。
- 地域見守りネットワーク事業
 - 身近な地域の中で見守り声かけ活動を展開し、生活課題の早期発見・早期支援を行う。
- 生活支援体制整備事業
 - 生活支援・介護予防サービスの把握及び創出、支援ニーズの把握、関係者間のネットワークの構築・ニーズとサービスのマッチング等を行うサービス・支援の担い手となるボランティア等の養成

介護サービス事業

- 介護支援ボランティア事業
 - 高齢者の社会参加、地域貢献活動の促進、介護予防の推進、介護支援ボランティア手帳の申請受付・配布
 - 暮らしに役立つ生活術「料理編」「掃除編」を開催
- 障害者等相談支援事業
 - 障がい者等から、福祉に関する各般の問題についての相談に応じ、必要な情報の提供並びに助言その他の障害福祉サービスの利用支援等必要な支援を行う。
 - 虐待の防止及びその早期発見の為に関係機関との連絡調整、その他の障害者等の権利擁護のために必要な助言を行う。
- 居宅介護支援事業
 - 要介護者・要支援者に対してのケアプラン作成・認定調査等を実施
- 訪問入浴介護事業
 - 要介護者に対して、居宅における入浴サービスを実施
- 訪問介護事業
 - 要介護者に対してホームヘルパーを派遣し、できる限り自立した日常生活を営むことができるよう援助

④ 介護予防・日常生活支援総合事業 (訪問介護)

● 要支援1又は要支援2の状態にある高齢者・チェックリスト等で総合事業の対象者とされた「事業対象者」に対し、適正な介護予防訪問介護を提供

⑤ 介護予防軽度生活支援事業

● 介護保険非該当者等にホームヘルパーを派遣し、軽易な日常生活上の援助と自立を支援

⑥ 通所介護事業

● 要介護者に対し、入浴、昼食、体操やレクリエーションなどを提供し、できる限り自立した日常生活を営むことができるよう援助

⑦ 介護予防・日常生活支援総合事業 (通所介護)

● 要支援1又は要支援2の状態にある高齢者・チェックリスト等で総合事業の対象者とされた「事業対象者」に対し、適正な介護予防通所介護を提供

⑧ 生きがい通所サービス事業

● 介護保険非該当者に対して、生きがいと社会参加を促進し、要介護状態になることを防ぐため、デイサービスを提供

⑨ 重度障害者訪問入浴事業

● 身体障害者に対し、居室における入浴サービスを提供

⑩ 自立支援居宅介護事業

● 障害者・障害児に対して、入浴・排せつ及び食事等の介護・調理・洗濯・掃除等の家事並びに生活等に関する相談や助言、その他の生活全般にわたる援助を実施

● 知的障害者又は精神障害者に対して、行動する際に生じ得る危険を回避するために必要な援護、外出時における移動中の介護、排せつ及び食事等の介護、その他行動する際に必要な援助を実施

● 視覚障害者に対して、外出時において同行し、移動に必要な情報を提供するとともに、移動の援護、排せつ及び食事等の介護、その他外出する際に必要な援助を実施

⑪ 障害者移動支援事業

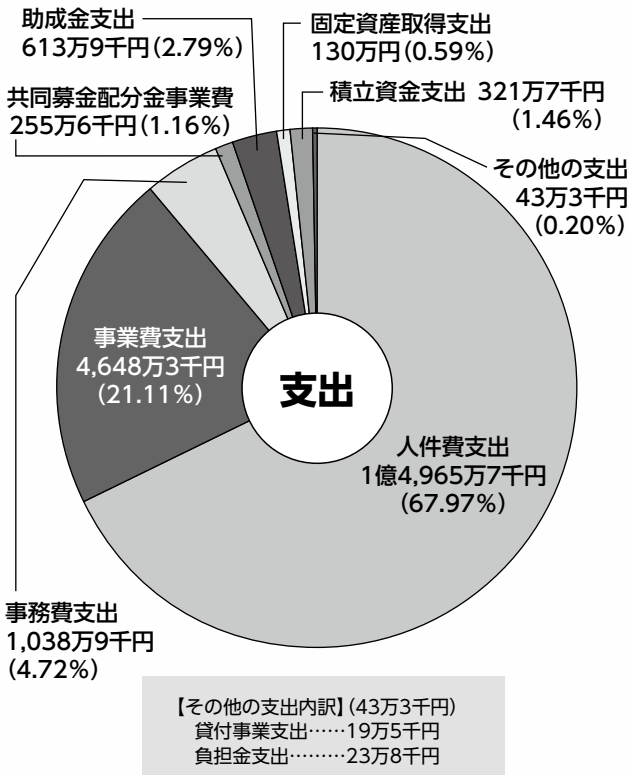
● 障害者等に対して、生活上必要不可欠な外出並びに余暇活動等の社会参加のための外出の際の移動を支援

⑫ 基準該当生活介護事業

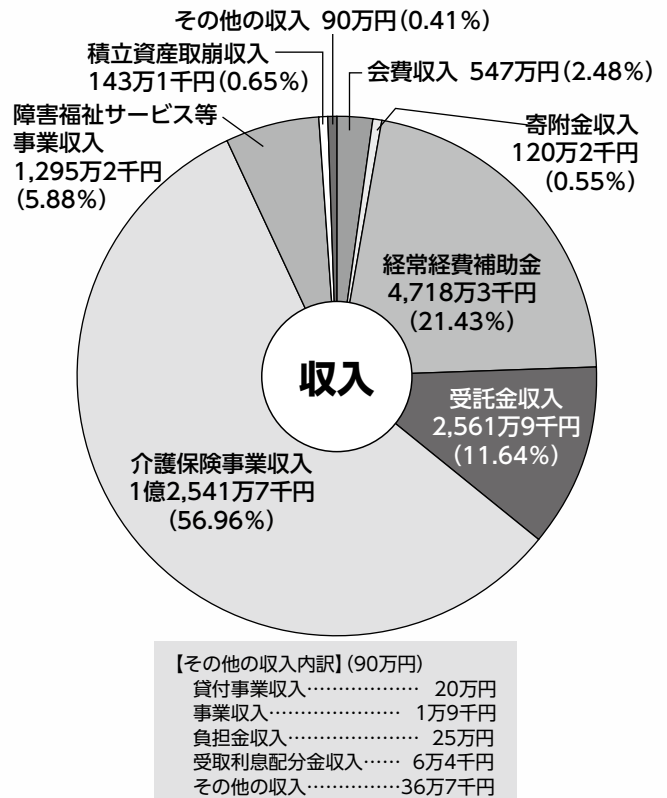
● 障害者総合支援法に基づき、障害区分認定を受けた身体障害者(内部障害や肢体不自由な方)に対してデイサービスを提供し、地域において自立した日常生活を営むことができるよう援助

平成31年度 都留市社会福祉協議会 当初予算

支出 2億2,017万4千円



収入 2億2,017万4千円



地区社協活動紹介（禾生）

Part14

3月27日（水）、午後3時より、禾生地域コミュニティセンターにおいて、平成30年度禾生地区ふれあい福祉集会を開催しました。

当日は禾生地区社協関係者や民生委員児童委員を中心に21名が参加し、「生活習慣病予防のための食生活」と題し、都留市福祉保健部健康子育て課の蒲地管理栄養士による講演がありました。

生活習慣や食生活、健康についての講演の時間では、皆さん熱心に聞き入ったり、メモを取ったりしていました。塩分味覚体験の時間では、それぞれの味覚感知能力に差があることを実感していました。

講演終了後には、「普段食べている物にこんなに塩分があるなんて知らなかった」「カロリー消費には思っている以上に時間がかかるんだあ」「今日から生活習慣を改善してみよう」などの感想が沢山聴かれ、健康について再確認できた有意義な時間になったようです。



地区社協活動紹介（開地）

Part15

1月30日（水）午後1時30分より、開地ふれあい集会所において、熊井戸・緑町ふれあい・いきいきサロンが開催されました。

当日は、「歌声のつどい」をテーマに、サロンや施設訪問など様々な音楽ボランティア活動が行われているW鈴木さん（鈴木志ぐれ氏+鈴木桂一氏）をお招きし、新年にちなんだ歌や、都留市に縁のある歌を熊井戸・緑町バージョンの替え歌とし、講師自らが撮った写真を使い、歌に込められた思いや物語を紹介するなどオリジナルのプログラムで楽しませていただきました。

参加者と共に1時間30分の間に36曲を歌い、その曲数を感じさせない展開や、メリハリのあるプログラムで楽しく交流ができました。

W鈴木さんは、「この活動をたくさんの人に知っていただき、皆さんの活力ある生活を支えていきたい」と話され、今回のサロンを成功させるため、事前に2度に渡り、この地域の取材を行ったとのことでした。

参加された方々から、「昔を思い出せた」「いつもと違うプログラムで楽しかった」などの感想を頂きました。



あたたかい福祉のまちづくり推進のために 社協会費納入のご協力をお願いいたします。

平素から社会福祉協議会の事業推進につきましては、深いご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

社協の会費は、事業計画に掲げる住民全体の福祉活動を実現するため、また、各種事業が住民の参加、助け合いによって進められるために欠くことのできないものです。

この会費には次のようなものがあります。

(1) 一般会費 (年額 700 円)

各地区自治会をとおして市民の皆様からいただく会費

(2) 特別会費 (年額 3,000 円)

福祉団体などからいただく会費

昨年は **7,730世帯より700円**の一般会費を納入していただきました。

この会費は、法人運営事業、社会福祉大会事業、民生委員・児童委員協議会への助成、地域福祉活動計画事業、地区社協の活動費、ふれあいのまちづくり事業をはじめ、社会福祉協議会の運営に必要な事業費として、地域での福祉事業推進のため大きな役割を果たします。

7月に各自治会へ納入のお願いをいたしますので、福祉の充実に向け、皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。

皆さんのボランティア活動を、 活動資金面から支援いたします！

誰もが住みよい福祉のまちづくりを進めるため、地域の中で自主的に活動しており、都留市ボランティアセンターに登録しているボランティア団体・グループに対して、助成金を交付いたします。

【助成の対象】

都留市に活動拠点を置き、過去1年以上に渡り、以下の事業を行うボランティア団体・グループ

- (1) 在宅福祉の普及、向上を図る事業
- (2) 健康、生きがいづくりを推進する事業
- (3) 地域の保全を図る事業
- (4) 子どもの健全育成を図る事業
- (5) その他社会福祉の向上に資する事業

【助成金の額】

1団体当たり5万円を上限とする。ただし、助成金総額

ボランティア活動助成金

は本会の予算の範囲内とする。

【助成対象となる経費】

助成事業に直接必要となる経費で、当該年度末までに経費支出が完了するものに限る。

例) 講師謝礼、勉強会等会場費、会議時における茶菓子代、飲料代、チラシ等の印刷費、情報誌の郵送代、活動時の賠償責任保険料、活動に直接必要な消耗品費、車輛燃料代など

※団体構成員の報酬、家賃、水道光熱費、宴会費等は対象外となります。

【助成申請期間】

6月3日(月)～7月31日(水)

広報モニター募集!!

わかりやすく親しみやすい広報活動を進めるため、社協広報誌「つるの福祉」についてのご意見をお寄せいただく広報モニターを募集します。皆様のご意見を是非、お聞かせください。

応募資格

市内在住または市内在勤の18歳以上
(平成31年4月1日現在)の方

募集人数

10名(応募者多数の場合は選考させていただきます)

応募方法

公募申込書(MS-Word・PDF)に記入し、6月28日(金)までに、次のいずれかの方法により提出してください。都留市社会福祉協議会窓口へ持参又は、送付(消印有効)

※申込書については、都留市社会福祉協議会ホームページよりダウンロードしてください。

老人クラブ会員・各教室会員 大募集!!

健康づくり、仲間づくりの一助として、老人クラブに参加してしてみませんか。都留市では、現在、市内の40を超える地域で、老人クラブが結成され、盛んにクラブ活動が行われています。

老人クラブが実施している、健康づくりや仲間づくり、各種文化活動、社会活動に参加し、地域の仲間と一緒に元気ではつらつとした生活を送ってみたいませんか。

また、都留市社会福祉協議会が推進している「老人のしあわせの里づくり事業」では、都留市老人クラブ連合会に協力をいただき、各種教室を開催しています。会員による自主的な教室で、運営も会員で行っています。

現在実施している教室(民謡・詩吟・舞踊・囲碁・将棋・大正琴・歌謡)では、会員を募集しています。

「都留市まちづくり交流センター 1階 交流室和室」を会場に、月に1回～2回、みなさんと練習に励んでいます。

また、1年間の練習の成果の発表会として、毎年3月にうぐいすホール(小ホール)で「おさらい会」を開催しています。

皆さんも、生きがいのある社会参加の機会として、教室で楽しい時間を過ごしてみたいはいかがでしょうか。皆さんの地域で活動している老人クラブの状況や各教室の詳しい情報をお伝えします。

※問い合わせは、都留市老人クラブ連合会(電話 46-5115 安藤)までお願いします。

総合相談所カレンダー

ひとりで悩まず、まずは相談してみませんか!?

★心配ごと相談（簡裁法律相談）

生活上の困りごとや悩みごと、また、相続・契約・金銭貸借・消費者金融・成年後見・離婚問題ほか法律に関する相談をお受けします。

相談時間：午後1時～4時

相談員：山梨県司法書士会、
司法書士総合相談センター所属司法書士

★一般相談

日常生活での様々な困りごと、悩みごとの相談を精神保健福祉士・社会福祉士がお受けします。電話相談と社協窓口相談を受付けており、匿名での相談も可能です。相談内容は厳守されます。専門的解決を要する内容には、より適切な相談窓口を紹介しています。

相談日時：毎週月曜日から金曜日（祝日は除く）午前8時30分～午後5時15分

相談場所：都留市下谷2516番地1 いきいきプラザ都留内

要 予 約		
日 程	事 務 所 名	
5月	10日(金)	天野清司法書士事務所
	17日(金)	篠田貴子司法書士事務所
6月	7日(金)	高尾直裕司法書士事務所
	21日(金)	天野清司法書士事務所
7月	5日(金)	篠田貴子司法書士事務所
	19日(金)	高尾直裕司法書士事務所

お知らせ 都留市ファミリー・サポート・センター事業の事業運営移行について

平成24年度から、都留市より委託を受けて運営してまいりました「都留市ファミリー・サポート・センター事業」につきましては、平成31年4月から、市の公募により選定されました、NPO法人「にこ研 親子のえがお研究クラブ」に事業運営を移行し、その役割を担っていただく事となりました。

この法人は、子育て中の若い世代の母親の皆さんが集まり、これまで様々な子育て支援の活動を実践するサークルとして活動してまいりましたが、今年始めには、山梨県から認証を受けたNPO法人として、その活動の場を広げているところであります。

当社会福祉協議会は、今後も、このNPO法人や、引き続きご支援をお願いする提供会員の皆様方と連携を深める中で、本市における子育て支援の更なる充実や、発展に寄与してまいりたいと考えております。

これまで、当社会福祉協議会のファミリー・サポート・センター事業運営にご支援、ご協力を賜りました会員の皆様に、心より感謝申し上げます。

なお、運営主体は移行しますが、これまでの管理運営の形態に変更はありませんので、引き続きご支援、ご協力をお願い申し上げます。



給食サービス事業

(平成31年1月～3月のプレゼント)

青藍幼稚園、円通保育園、長生保育園の園児たちが来所され、給食サービス利用者へ贈る手作りのプレゼントを寄付してくださいました。季節感のある素敵なプレゼントをありがとうございました。



青藍幼稚園



円通保育園



長生保育園

第37回 都留市社会福祉大会記念式典被表彰者

2月22日(金)、市内の社会福祉関係者が一堂に会し、社会福祉活動に功績のあった方々の表彰を行うとともに、山梨県知事表彰、山梨県社会福祉協議会会長表彰の栄に輝いた方々の顕彰を行いました。

式典終了後には「家庭・地域の防災を落語で楽しく学ぶ」と題し落語家の桂三弥氏をお招きし、ご講演頂きました。

受賞された皆様おめでとうございます。

第37回都留市社協



山梨県知事表彰

● 民生委員・児童委員
小俣哲夫

● 社会奉仕活動(個人)
天野好恵、上原幸子(故)、根本陽子、矢野八重子

● 社会奉仕活動(団体)
サンマジック、手話&ステップ
ニュークレイン、つみかごの会、都
留舞踊連盟東山流夢都会、都留詩友
会、都留保育所連合会、みどりの会

● 山梨県社会福祉協議会会長表彰
● 民間社会福祉団体役員
天野幸子、奥脇重子、加藤孝枝、
原田令子、船木大輔

● ボランティア活動(個人)
石原 清、牛田さかえ、佐藤孝江、
白水明美、田中一子、田邊洋利、
中野忠三、根本正美、根本美佐子、
増田曙美、矢崎暉文

● ボランティア活動(団体)
都留市防災ネットアマチュア無線ク
ラブ、山梨県視覚障害者協会都留支
部

都留市市長表彰

● 民間社会福祉事業施設役員
小林明彦

● ボランティア活動(個人)
梅谷正典、大野吉江、三枝昭子

● ボランティア活動(団体)
琴の音会、収集活動ボランティア

● 老人クラブ活動(個人)
功刀るり子

都留市社会福祉協議会会長表彰

● 民間社会福祉事業施設役員
酒井啓行、渡邊友美

● ボランティア活動(個人)
上田元子、小川やす子、稀代清美、
小林さき子、境野隼太、佐田敬子、
篠原日文、高部多加代、高部照子、
中野宏典、野武義行、藤本道子、
矢野とし子、山本さよ子

● ボランティア活動(団体)
郡内明るい社会づくり運動推進会議
都留文化部、都留音頭保存会連合
都留毛槍おどり保存会、都留市自主
保育グループ「はねこっこ」

● 老人クラブ活動(個人)
佐藤勝子、杉本和子、遠木三郎、
細川玉恵、堀内和夫

都留市社会福祉協議会会長感謝状

● 金品寄附(個人)
小俣幸夫、澁澤栄一

● 金品寄附(団体)
都留市児童生徒連絡協議会、
リフォームボランティア

都留市老人クラブ連合会会長表彰

● 老人クラブ活動(個人)
天野功子、堀野義春

都留市老人クラブ連合会会長感謝状

● 老人クラブ活動(個人)
市川茂虎、
小林極子、
小林圭一、
小林壽喜子、
三枝力

(敬称略)



善意

銀行への寄附

平成31年1月～3月の寄付、
社会福祉のために(敬称略)

● ペットボトルキャップ
中野忠三、佐野妙子、(有)モールドモデル、引の
田老人クラブ、関戸千恵、山口民士、幸友会、梶
原晴代、山口利美、J.R東海ユニオンリニア開発
本部(山梨分会、山谷花子、内川知子、佐藤育子、
富岡スギ、坂田ひろみ、寿町老人クラブ、都留市
ボランティア連絡会、就労支援事業所チャレンジ・
ドリーム、ボランティアサークルひびきの会、都
留舞踊連盟東山流夢都会、板倉光希、佐藤和徳、
たがい立て合い助け合いの会(81kg) 他匿名

● プルタブ
梶原晴代、引の田老人クラブ、いーばしよ与繩
牛田幸子、幸友会、山口利美、川茂老人クラブ柏
豊会、内川知子、坂田ひろみ、たがい立て合い助
け合いの会(10.5kg)

● 古切手 石原宏之、他匿名
● カレンダー 石原宏之
● 台拭き おちゃんこクラブ一同
● 衣類 牛田幸子
● 牛乳パック 匿名
● お米20kg 匿名

● おかゆ208食 株式会社プログレス
● タップ(保存容器)9個、上着 牛田幸子
● 生地、布 菅谷敏江
● アクリルたわし11枚 匿名

● 食器 匿名
● 綿、半紙 匿名

● 石けん 自衛術赤坂クラス、他匿名
● 牛乳パック 自衛術赤坂クラス
● 布、ハンガー、ゴルフボール、ポケット灰皿、文
鎮2個 匿名

● 雑貨 匿名
● 金8,155円 ヘアスタジオスエヒロ長田昇
● 金10,000円(東日本大震災義援金)
渡辺富士夫(ナベフジバンド)

● 都留市社会福祉協議会への寄付金
● 金1,383円 都留市はつらつ鶴寿大学
● 金6,116円 角田正彦

赤い羽根共同募金運動結果最終報告

赤い羽根共同募金は、民間の運動として戦後直後の1947年（昭和22年）に、市民が主体の取り組みとしてスタートしました。

共同募金運動は自治会や地域福祉に関わる諸団体の協力と地域住民の参加により、活発に運動が繰り広げられ、平成30年度は、合計4,876,969円の募金が集まりました。（運動期間平成30年10月1日～平成31年3月31日）

集まった募金の約58%が、都留市の地域課題解決のために使われ、残りの42%は、山梨県内の広域的な課題を解決するため、福祉施設等に配分され使われます。

また、大規模災害が起こった際の備えとして、各都道府県の共同募金会では募金額の一部を「災害等準備金」として積み立てています。この積み立ては、災害ボランティア活動支援など、被災地を応援するために使われています。

◎家庭募金	2,221,252円	◎街頭募金	212,394円
◎大口募金	2,003,000円	◎職場募金	385,880円
◎自動販売機募金 (都留文科大学構内)	54,428円	◎利息	15円

合計 4,876,969円

御協力くださいました皆様、ありがとうございました。

介護支援ボランティア養成講座を開催しました。

2月28日（木）に介護支援ボランティア養成講座を開催し、今回は、9名の方が参加され、これまでに、83名の方が養成講座を修了され、多くの方がボランティア活動を実践されております。

本講座では、「地域・施設におけるボランティア活動」、「ボランティア活動と介護予防について」、「高齢者の特徴やコミュニケーション」、「認知症について」を学びました。

参加者からは、「私でも役に立つ事があると思えてきた」「自分自身の交流の機会を増やしたい」「声掛けの大切さを学んだ」などの感想がありました。

この介護支援ボランティア事業は、健康増進や介護予防、また、社会参加や地域貢献を通じた生きがいづくりを目的として、65歳以上の方が介護保険施設や地域、社会福祉協議会などで介護支援ボランティア活動を行うことにより、実績に応じてボランティアポイント手帳にスタンプが付き、集めたスタンプ数に応じて「つるポイント店会」の「わくわくカード」にポイントを貯めることができる仕組みとなっています。

今後も介護支援ボランティア養成講座は継続して開催していきますので、大勢の皆様のご参加をお待ちしています。



新規事業

暮らしに役立つ生活術「料理編」を開催しました。

2月24日（日）に、料理に関心のある概ね40歳以上の方や福祉関係の職場で働きたい方を対象に、暮らしに役立つ生活術「料理編」を開催しました。

この講座には、料理の基本を学ぼうと17名が参加され、包丁の持ち方、計量スプーンの使い方、おいしく仕上げるコツなど、料理の基本を学びました。

参加者からは「皆さんと話をしながらとても楽しかった」、「きちっと計って作るのは楽しい勉強になりました」、「うす味のほうが材料の味がしっかり出ておいしい」、「ほうれん草の和え物やしょうが焼きがおいしくできた」などの感想がありました。

今後も、暮らしに役立つ生活術講座を開催していきますので是非ご参加ください！



- 作りました！
- ・ご飯
 - ・豚のしょうが焼き
 - ・ほうれん草のおひたし
 - ・豆腐とワカメのみそ汁

ぼられんだより

No.44

都留市ボランティア連絡会は、多くの市民が関わり、市民の声を反映する仕組みの一つとしてボランティア活動の特徴（自主性、自発性）を考えた、ゆるやかなネットワークづくりを推進していくため、今後もボランティアの輪を広げていきたいと考えています。

新規
事業

男性のためのボランティア入門講座

おもちゃドクター編を開催しました。

2月16日（土）、17日（日）の2日間、いきいきプラザ都留3階研修室において、「男性のためのボランティア入門講座おもちゃドクター編」を開催したところ、18名の方が受講されました。

講師に、日本おもちゃ病院協会の下野 暁氏をお迎えして、一日目はおもちゃドクターの心構えや、修理工具、電池の種類、おもちゃの診察法などについて講義を受け、二日目は簡易電池パックとスピーカーテスターの作成、また、おもちゃの修理実習を行いました。参加者は熱心におもちゃドクターの技術を学び、配線やハンダ付けなどに挑戦しました。

今後は、都留市おもちゃ病院の開設に向け、フォローアップ講習会を行っていきます。



おふくろの味・知恵袋交換会

都留市社会福祉協議会では、都留市教育委員会生涯学習課とタイアップして、2月16日（土）のびのび興譲館クッキング塾の第9回親子料理教室として“おふくろの味・知恵袋交換会”を開催しました。講師は佐藤袈裟江さんが担当し、献立は、ベーコンさつま芋昆布の炊き込みご飯、大根干しの和え物、ひき肉の巻き物、りんごの春巻き、春雨と白菜のスープの5品で、家で収穫した野菜を使った美味しい家庭料理を教えてくださいました。また、当日の運営のサポーターとして、各地区のボランティアコーディネーターの皆様方にご協力していただきました。

当日は、24名の親子が参加し、子どもたちは上手に包丁を使ったり、巻き物をしたり、手際よく調理していました。

家族をつなぐ食卓、団らんなど日々の家庭生活の大切さを改めて実感する機会となりました。



都留音頭保存会連合会よりお知らせ

都留音頭保存会は、谷村地区、宝地区、法能地区、田野倉地区、東桂地区の5つの地域の方々と共に活動しております。納涼祭（盆踊り）（8月）、八朔祭り（9月）、施設訪問（年間通して）等、活動しています。

健康増進、都留市の文化の発展と共に人と人との絆を作ってまいります。



○練習日

4月～9月の第三金曜日
午後1時30分～（年6回）

○練習会場

吉廣 〒402-0056
都留市中央3丁目6番26号

○随時会員募集しております。

【問合せ・連絡先】 都留市中央3丁目6番26号 (TEL) 0554-43-2066 (吉廣) までよろしくお願ひいたします。

「ラブ&ピース」



都留市ボランティアマスコット

ボランティアセンターつうしん

都留市内のボランティア活動の様子を幅広くお伝える「ボランティアつうしん」をお届けします。自分の生きがいのため、そして地域社会のために身近でできるボランティア活動に参加してみませんか！様々なボランティア情報をどしどしお寄せください！

平成31年度 手話奉仕員養成講習会 (入門・基礎編)

地域住民を対象に、聴覚障がい者を正しく理解し、基礎的な手話を習得することを目的として、平成31年度手話奉仕員養成講習会を開催します。一緒に新しい「ことば」を学んでみませんか？

日時 令和元年5月27日(月)～令和元年9月30日(月) 入門編(19回)
令和元年10月7日(月)～令和2年3月9日(月) 基礎編(22回)
毎週月曜日 午後7時から9時

※月曜日が祝日の場合は翌日火曜日実施

会場 いきいきプラザ都留 2階 機能訓練室

対象者 一般住民ならびに学生30名
初心者、本講習会受講経験者(2年目までの方とする。)

参加費 無料

※入門・基礎編の講習会全41回の70%以上を受講した方には修了証を交付いたします。

ボランティア活動保険について

平成31年度ボランティア活動保険の加入申込みを受け付けています。

例えば・・・

- ・掃除ボランティア活動中に、怪我をして通院した。
- ・ボランティア活動中に、食べたお弁当でボランティア自身が食中毒になって入院した。
- ・家事援助ボランティア活動中に、誤って花瓶を壊してしまった。
- ・自転車でボランティア活動へ向かう途中に、誤って他人に怪我をさせてしまった。

など、様々なボランティア活動中の怪我や事故を補償します。

年度途中で加入される場合も下記の保険料になります。

また、ボランティア行事用保険もあります。ボランティアの活動内容によって選ぶことができますので、随時ご相談ください。

年間保険料

基本タイプ	Aプラン…350円
天災タイプ	Aプラン…500円
基本タイプ	Bプラン…510円
天災タイプ	Bプラン…710円

※天災タイプでは、基本タイプ+天災(地震・噴火・津波)によるケガも補償します。災害ボランティアとして被災地へ行くときには、地元の社協で保険加入手続きを済ませてからお出かけください！

【問合せ・申込先】

社会福祉法人 都留市社会福祉協議会 都留市ボランティアセンター 電話46-5115 FAX46-5103

第38回 ふるさと祭りおさらい会が開催されました！

3月1日（金） 都の杜うぐいすホール小ホールで第38回ふるさと祭りおさらい会が開催されました。

この会は、都留市社会福祉協議会が推進している「老人のしあわせの里づくり事業」として実施されている各種教室の一年間の練習の成果の発表会として開催され、教室の会員の皆さんや老人クラブの皆さんなど、106名の参加を得て盛会に実施されました。

出演された方々は皆さんの声援を受けて、晴れの舞台上で元気いっぱい演技を発表しました。

いくつになっても、元気に活動できる喜びにあふれ、いきいきとした表情で出演していただきました。



山梨県シルバー作品展

県内各地で開催された高齢者作品展において、代表となった優秀作品の展覧会が開催されます。

都留市からは、13点の作品が展示され、会場は甲府市の県防災新館1階オープンスクエアです。ぜひご覧ください。

優秀作品として都留市から出品される方は次のとおりです。

- 書の部 井上 幸子
- 日本画の部 功刀喜美子 小俣 昭子
- 洋画の部 秋山 秀子 内藤 敏和
- 彫刻の部 渡辺 峻
- 工芸の部 羽田久良子 志村 敬子 井上 美子
堀越 裕江 金子 一枝
- 写真の部 羽田久良子 藤本 紘一

日 時 6月7日（金）～9日（日）

会 場 山梨県防災新館1階オープンスクエア（甲府市）



ふれあいゲートボール大会開催

第39回ふれあいゲートボール大会を開催します。

この大会は9月28日（土）に行われる「いきいき山梨ねりんピック2019・山梨県シニアゲートボール大会」の予選会として開催します。メンバーが市内の方なら、合同チームでも参加できます。

本大会の上位2チームが県大会に出場できますので、ふるってご参加ください。

主 催 都留市老人クラブ連合会

共 催 都留市ゲートボール協会

日 時 6月6日（木）

場 所 小形山・大輪スポーツ広場

雨天の場合は7日（金）

参加資格 60歳以上

参加費 1チーム 2,000円

申込締切 5月17日（金）



絵手紙特集

「四季彩の絵手紙教室」



山本郁子 作



志村ひさ子 作



青池桂子 作

「絵のぬくもりは、わたしのぬくもり...
色彩の暖かみは、私の暖かみ...
振り返った絵の道は、二度とない私の四十年の
人生の足跡」
この度、十八年に渡り暖めていた「ママの森
ギャラリー」を山中湖村でオープンし、三年目
を迎えました。これも多くの皆様方の心温まる
ご指導があったからこそ、夢を叶えられました。
是非、お立ち寄りください。お待ちしております。

四季彩の絵手紙教室

代表 志村ひさ子氏（電話431-5805）